

報道関係者各位

**令和4年度畜産研究功労者表彰及び第57回優秀畜産技術者
表彰の受賞について**

このことについて、全国の畜産の試験研究に功績のあった研究者として、令和5年6月20日、下記のとおり畜産研究所の職員2名が受賞しましたので、取材くださるようお願いいたします。

記

1 令和4年度畜産研究功労者表彰

◇ 受賞者：農業総合研究センター畜産研究所

副所長 阿部 正博（あべ まさひろ）

- (1) 主催者：全国畜産関係場所長会（会長：栃木県畜産酪農研究センター所長 小松武夫）
(2) 表彰対象：永年、畜産の研究に従事して顕著な業績を挙げ、畜産の発展に貢献した個人及びグループで、概ね50歳以上が対象。

(3) 受賞理由：

ア 全国に先駆けて黒毛和種の筋肉内脂肪の質（特に脂肪酸組成）に関する研究に取り組み、枝肉検体の採材技術・方法を確立。

イ 県内飼料製造会社と共同した肉牛用の新たな飼料（膨潤発酵飼料^{※1}）の開発に携わり、県内外の畜産農家への給与技術の普及に貢献。

※1 飼料用米、大麦、とうもろこし等の原料を混合して蒸煮した後、酵母発酵させた飼料。

2 第57回優秀畜産技術者表彰

◇ 受賞者：農業総合研究センター畜産研究所 飼養管理部

主任専門研究員 渡部 真理安（わたなべ まりあ）

- (1) 主催者：公益社団法人 畜産技術協会（会長：東京都畜産技術連盟 石原哲雄）
(2) 表彰対象：優秀な畜産技術の普及や指導上顕著な功績を挙げた、意欲ある中堅の技術者や指導者で、概ね50歳以下が対象。

- (3) 受賞理由：乳用牛改良のスピードアップを図るため、OPU技術^{※2}及び体外受精卵培養に係る本県の畜産バイオテクノロジーの発展に寄与。加えてOPU技術普及に向けた新たな地域的取組が開始されるなど、その業績は山形県の乳用牛改良に大きく貢献。

※2：超音波診断装置により映像で卵巣を観察しながら牛の卵巣に針を刺し、直接卵子を採取する技術（Ovum Pick Up）で、実験室内で体外受精卵を製造する。

【問い合わせ先】

農林水産部畜産振興課
畜産ブランド推進主幹 鈴木 徹
TEL 023-630-2471

農業総合研究センター畜産研究所
副所長 阿部 正博
TEL 0233-23-8814

〔報道監〕

農林水産部次長 齋藤 邦仁